

国際シンポジウム

# ポスト・コロナ時代の労働法

日・独・韓の比較からみえてくるもの

講演者

神吉知郁子 (日本・東京大学教授)

「日本におけるポスト・コロナ時代の労働法」(仮)

盧 尚憲 (韓国・ソウル市立大学教授)

「ポストコロナ：転換期の労働と労働法」(仮)

Raimund Waltermann (ドイツ・ボン大学教授)

「ポスト・コロナ時代のドイツ労働法」(仮)

日時：2024年1月27日(土) 12時～17時(11時30分受付開始)

会場：南山大学 R棟 フラッテンホール (名古屋市昭和区山里町18)

参加費：無料／通訳あり(日本語で行われます)

\* 問い合わせ先：緒方桂子(南山大学教授) [ogatakei@nanzan-u.ac.jp](mailto:ogatakei@nanzan-u.ac.jp)

\* このシンポジウムは、公益財団法人労働問題リサーチセンターの研究助成[緒方桂子(主任研究者)]の成果です。